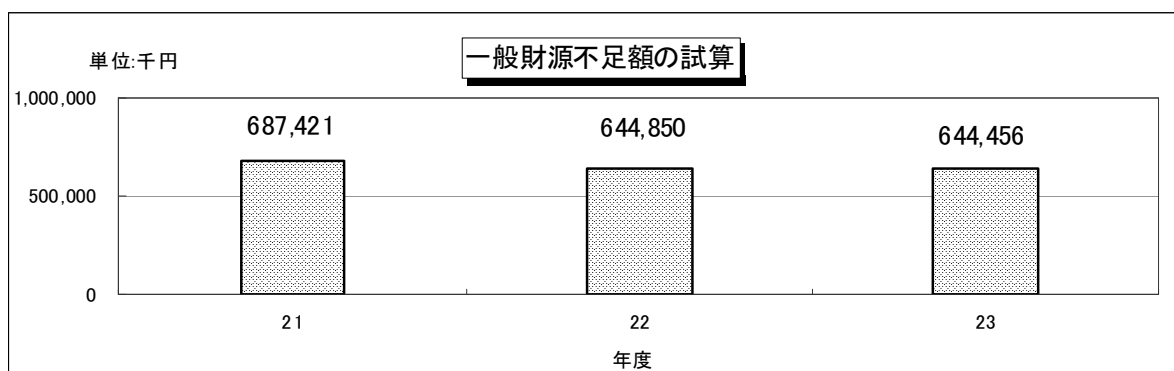
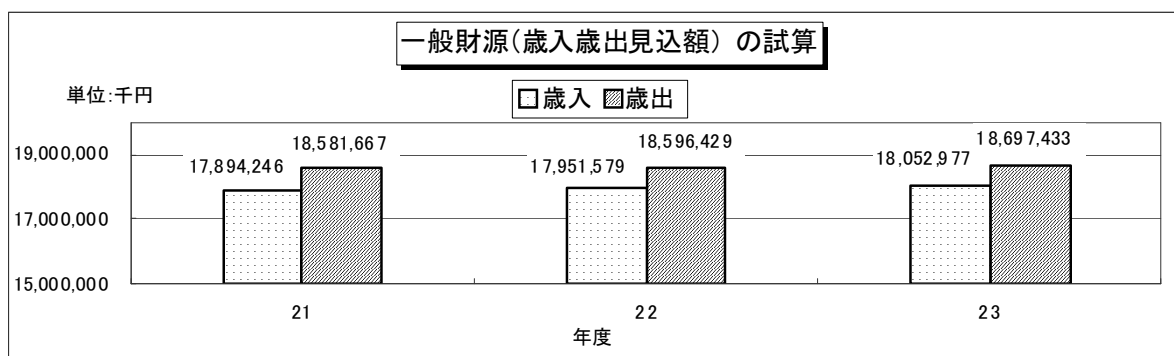


今後の財政見通し(平成21年度から平成23年度まで)

□ 平成19年度決算額及び平成20年度決算見込額を基礎数値として、一定の条件の下で、今後の歳入歳出見込額を試算

□ 試算の結果は下表のとおりで、いずれの年度も一般財源不足額が生じる見込み



□ 要因は次のとおり

- ・ 歳入 市税、基金繰入金、財産収入などの減
- ・ 歳出 特別会計への繰出金、選挙費、人件費などの増

□ 平成21年度予算の編成に当たり、行財政改革の取組を具体化するとともに、施策の厳しい選択を通じて施策の重点化を図り、収支の均衡を図る

<行財政改革元年の取組に係る削減目標額>

(単位:千円)

区 分	平成21年度	平成22年度		平成23年度	
	単年度削減額	単年度削減額	削減額累計	単年度削減額	削減額累計
人件費の削減	267,000	102,000	369,000	113,000	482,000
補助費等の削減	51,000	30,000	81,000	30,000	111,000
物件費の削減	0	35,000	35,000	65,000	100,000
計	318,000	167,000	485,000	208,000	693,000